

## 山口県内における高圧ガス事故の発生状況等について

## 1 過去5年間の高圧ガス取扱形態別事故発生状況

山口県においては、平成29年以降は30件前後の高い水準で推移しており、昨年は過去最多の37件の事故が発生した。

また、昨年は、高圧ガス事故に係る死傷者は、2人（重症1人、軽傷1人）となった。

表1 過去5年間の事故件数の推移

保安法事故 全体	年	H29	H30	R元	R2	R3
	事故	30	24	33	23	37
	盗難・喪失	0	0	1	2	0

表2 過去5年間の事故件数の推移（事象別）

事象別	年	H29	H30	R元	R2	R3
	火災・爆発	3	0	1	0	3
	漏えい	30	23	33	23	32
	その他	0	1	0	0	2

表3 過去5年間の事故件数の推移（規則別）

	年	H29	H30	R元	R2	R3
製造	一般	14	13	17	9	7
	液石	0	2	1	0	0
	コンビ	6	4	3	4	12
	冷凍	9	2	10	8	15
貯蔵	一般	1	2	0	1	0
	液石	0	0	0	0	0
消費	一般	0	0	1	0	1
	液石	0	1	0	0	1
移動	一般	0	0	0	0	1
	液石	0	0	1	1	0
その他		0	0	0	0	0

表4 過去5年間の死傷者数の推移

	H29	H30	R元	R2	R3
死者	0	0	0	0	0
重傷者	0	1	0	0	1
軽傷者	1	4	0	0	1
死傷者計	1	5	0	0	2

表5 過去5年間の事故件数の推移（ガス種別）

	H29	H30	R元	R2	R3
可燃	4	6	3	2	7
可燃・毒性	2	0	8	7	2
毒性	13	8	8	0	2
酸素	0	1	0	0	1
空気	0	0	0	0	0
不活性(冷凍を除く)	2	7	4	4	5
冷凍(フロン・不活性)	9	2	10	10	18
冷凍(不活性)	0	0	0	0	0
冷凍(可燃・毒性)	0	0	0	0	1
その他	0	0	0	0	1

表6 令和3年の事故原因（主因）別件数

		冷凍設備以外	冷凍設備
物的要因	設計不良	0	2
	製作不良	2	0
	施工管理不良	1	2
	腐食管理不良	1	3
	検査管理不良	1	2
	点検不良	3	0
	締結管理不良	2	2
	シール管理不良	3	2
	容器管理不良	1	0
人的要因	組織運営不良	0	1
	操作基準等の不備	0	0
	情報伝達の不備	0	0
	誤操作、誤判断、認知確認ミス	3	3
	不良行為	0	0
その他	自然災害	0	0
	交通事故	0	0
	その他(調査中含む)	1	2
合計		18	19